

羽ばたけ! TUT2020 報告書

4 系 (B) 3 年 氏名 高須麗奈

参加プログラム	オーストラリア研修
研修先機関名及び 所在国	アデレード大学／オーストラリア
プログラム名	Global Jinzai Program
研修内容	
<p>① 参加の目的や動機</p> <p>私がこの研修に参加したのは、自分の英語力やコミュニケーションスキル、自分を発信していく等の能力を伸ばすためです。</p> <p>私は今年度(2020年度)3年次に編入しました。それ以前の私はこういった活動に興味がありながらも、高額な費用や自分の弱さ、自信のなさから、どうしても参加に乗り出すことができませんでした。英語を話すのは英語のクラスだけでした。</p> <p>そこで、大学生になったら自分の能力を向上させるための機会を逃さないようにしようと思いました。しかしながら、コロナの影響で年度初めは機会を見つけることすら困難でした。でも、全員が同じ状況にいるのに、コロナを言い訳にはしたくないと思いました。</p> <p>学内にも英語アドバイザーや国際交流クラブなど機会もあり、出来る限り活用、参加しました。</p> <p>そんな中で、この「羽ばたけ! TUT」の存在を知り、説明会に参加しました。オンライン留学が行われること、そして、費用は全額学校負担であること、日本にいながらも、オーストラリアの大学と繋がって学べるということで、参加したいと強く思いました。英語力はもちろん、コミュニケーション等のスキルを伸ばすことができるのではと思ったことも理由の一つです。</p> <p>さらに、ほかの理由として、春休みを充実させたいと思ったからです。今までの長期休暇は怠惰なもので、自分で立てた目標を、自分1人で完遂することは難しく、途中で投げ出してしまうことが多かったです。誰かと学ぶことはその継続を助けてくれます。</p> <p>そこで、この機会を生かし、大学生となった自分を成長させるためにこの研修へ参加しました。</p> <p>② 研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループセッション • Amazing race - explore Adelaide with student guides • Tour of university of Adelaide/Rundle mall • Online Homestay • Reverse tour - Japanese students show student guides something in Japan • プレゼンテーション • 比較の文法 • スラング • 聞き返す時やプレゼンテーションで使えるフレーズ 	

③ 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点

研修に3週間毎日参加し、英語で話し、オーストラリアの文化等を学んだ。実際に画面の共有を通して、アデレード大学やホストファミリーの家の様子等を見たり、質問を通して、どのような生活を送っているのかを聞いたりした。

本研修には、リスニングやスピーキング、ライティングの能力を伸ばす機会があり、また、グループワークを通して、プログラムに向けてや、プレゼンテーションの準備をした。グループワークでは、自分の意見を述べたり、ほかの人の意見に反応したりすることで成り立つことを感じた。

自分の意見を伝えることに関しては、ひとつのテーマに対してひとつの意見を言うことはできたが、それ以上の意見がないときは、なかなか伝えることができなかった。意見を伝えることも大切だが、その意見を考え、成り立たせることも必要であると感じた。物事に対して疑問に思ったり、より深く知ろうとする姿勢であったり、見つめる視点を変えてみたりすることで、意見を持つ力に繋がると思った。

全体でのクラスの時は話すとき以外はミュートであったので、ジェスチャーで反応するように心がけた。グループワークの時は、相槌を打つことやコメントしようとした。できた時もあったが、すべてに対してコメントを言うことはできなかった。特に自分が書記の役割を持っている場合には、書くことに一生懸命になってしまい、反応やコメントが疎かになってしまった。

また、聞き取れない時や理解できないときには何度か聞きなおした。その場で聞き返せなかったものについては、プログラムのまとめの時間に聞いたり、同じグループのメンバーに尋ねたりした。聞き取れた単語で意味の分からないものはその場で検索したり、メモに起こしたりしてクラスの後調べた。

英語に関して振り返ると、言いたいことが言えなかったり、単語の意味が分からなかったりした。一方で、英語で話すことに少し抵抗がなくなった気がする。間違っているけど、なんとかして自分の言いたいことが伝わるように話すことで、先生がまとめて言い直してくれて、もっと簡潔に表せることが分かったり、他の参加学生の積極性に刺激を受けたりした。

最後に行われたプレゼンテーションで有効なフレーズやスラングを学んだ。知らなかったことを知ることができた。

④ 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

今後の目標は、引き続き英語に触れていくこと、そして、ミーティングの場等で自分の意見を持ち、発信すること、ほかの人の意見に反応すること。

これらの目標を達成するために、経験できる場へ積極的に参加しようと思う。英語に触れるために英語学習アドバイザーと会話したり、国際交流クラブに参加したりすること。また、ミーティングにおいては考え、発信することを毎回頭において、参加したいと思う。意識しているだけでも変わってくると思うから。

これについては経験することが必要だと思うので、自分の持てる場を活用したいと思う。

そして、行動目標のひとつでもあった「英語学習アドバイザーによる評価」についても、時間を見つけて行いたいと思う。そこでのフィードバックや今後へのアドバイスも取り入れたいと思う。

自分自身で振り返ると、やはり「積極性」が課題のひとつだと思う。本研修に参加していた学生は積極性が高く、自分の能力のレベルを痛感した。自分の意識次第で変わる部分だと思うから、これからの経験を通して、改善したいと思う。

⑤ その他感想など

o-chat というイベントに一度参加した。その際には、初めて話す人たちとの会話だった。最初はとても緊張したけれど、相手に質問したり、自分のことを話したり、初めて知る内容を聞くこともできた。人と話すことは緊張するけれど、それと同時に楽しさを味わうことができた。

また、オンラインホームステイの際にホストファミリーが言っていた 5 min. shower など、オーストラリアと日本での水に対する考えや扱いを知り、改めて考える機会になった。資源を無駄にしないように生活を見直そうと思った。

○最後に

今回初めてこのような研修に参加しました。何かに挑戦するということはとても壁が高いと感じていました。特に、初めてのことに對してはより一層高い壁を感じていました。

しかし、実際に行動に移してみると、思っていたより壁は高くなく、楽しく超えられる壁でした。「食わず嫌い」はもったいないと思いました。この先も、「やってみたいこと」と「自分がその物事に抱く感情」とのバランスがうまく取れないときには、挑戦する方を選択したいと思います。

今回、この研修に参加することができてとても嬉しかったです。自分の能力の向上やそれからくる自信など、少し高められた気がします。何よりも研修時間を楽しく過ごせて、3 週間があっという間でした。

そして、他大学の学生との会話で本研修の参加費が全額学校負担なのは TUT だけでした。今回参加できたことに心より感謝申し上げます。